



援 の 提 供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6			2		個別支援計画書の内容の支援を行っていただけるよう取り組んでいます。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	8				いつも月の予定表すごいなと思っています。	ご家庭、学校や他事業所でのお子様の様子や活動を情報収集し、活動の参考にさせて頂いております。療育内容も支援の参考にさせて頂いております。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4		1		3	地域の公園やイベントに参加し、交流する機会は設けていますが、今後積極的に交流する機会を検討していきます。
保 護 者 へ	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	1				ご契約時に重要事項説明書に基づき、説明させて頂いております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7			1	連絡帳が毎回楽しみです。	個別支援計画書の説明をさせて頂く時に、支援のねらいと支援内容を説明させて頂いております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	5	2			1	研修等のご案内や必要に応じ、関連機関への繋ぎなどを行わせていただいております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	1				日々の送迎時などでお子様の様子を報告させて頂いております。現状の課題についてご家族と十分な共通理解ができているかは、不十分な点のあると思うので、今後しっかり行えるよう努めていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1				いつも話を聞いてくれて、聞くのが楽しみです。

の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5			2	楽しみです。	年2回、保護者会の実施を行っています。今後も継続して実施していき、ご家族同士の情報交換の場を提供したいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8					お電話やLINE、送迎時等でご相談を受け入れ、迅速な対応ができるよう体制を整えています。また、必要に応じ、相談員、他事業所、学校等と連携をとっております。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					お子さん自身がわかりやすいように、説明を工夫して混乱のないよう支援に努めています。ご家族に関しては、連絡帳や電話、LINEなどで情報交換を行っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1				フェイスブックやお便りなどで、活動報告や連絡体制の状況を報告させていただいています。今後も周知徹底に努めてまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	7	1				個人情報の取り扱いには十分に配慮し、管理させていただいております。
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8				わかりやすく教えてくれて安心しました。	各マニュアルは作成しており、契約時（その後マニュアル更新ごとに）ご家族へ説明させていただいております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	1		3		非常事態に備え、避難備品はそろえ管理しております。年に2～3回避難訓練を実施しております。
満 足	22	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1			すごい楽しみにしています。お休みする時は怒ります。行った日は、あったことを教えてくれるので楽しいです。	お子様に、またミルクキーに行きたいなと思って頂けるよう楽しい場所になってくれたらいいなと思っております。今後ともよろしく願いたします。

度	23	事業所の支援に満足しているか	7	1			給食が分からないので、食べたもの、量を軽くでいいので知りたいです。	給食の内容をしっかりと伝えさせていただきますね。これからもお子様、ご家族のお手伝いができたらと思います。気づいた点がありましたら今後もお伝えしていただけたらと思います。
---	----	----------------	---	---	--	--	-----------------------------------	--

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。